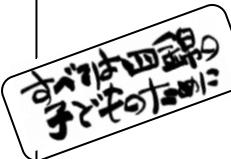


学校だより



しきん

令和5年 1月吉日
京都市立第四錦林小学校
校長 長谷川 英司
特別号



4月19日（火）に全国の小学6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、結果の分析がまとめましたのでお知らせします。

（1）学力調査の結果から

今年度の「全国学習力状況調査」は、国語、算数に理科を追加した3教科で実施しました。第四錦林小学校児童の平均正答率は、全国平均や京都府平均からすべての教科で10ポイント以上回る結果となりました。その要因を得点分布から分析すると、全問正答できている児童数は全国平均や京都府平均と変わらないものの、1問間違い、2問間違いといった平均正答率以上の児童数が多いことが分かりました。このことから、多くの児童が学習内容を概ね理解しており、知識として定着しているといえます。

「国語」

全国平均を上回ったものの「書くこと」や「読むこと」領域の結果に課題が見られました。特に、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる問題での正答率が低く、課題として明らかになりました。授業の中で児童同士が文章を読み合う活動を行う中で、「内容」や「表現のよさ」を伝え合うことにとどまらず、自分が文章を書いた目的や意図、工夫した点を相手に伝え、書く過程で書き手として思考・判断したことを表出す経験を繰り返すことで「書く」力を伸ばしていきたいと思います。

「算数」

全ての設問で全国平均を上回る結果となりました。特に、プログラムをつくりいろいろな図形を描く問題では、全国平均より10ポイント～25ポイント上回る良好な結果となりました。一方で「割合」の問題については、全国平均よりは上回っているものの正答率が3割を下回っており、大きな課題です。問題にある「数や式で表された算数の場面」を日常の具体的な場面に対応させることができたためだと分析しています。日々の学習の中で、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり、論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりすることができる算数的活動の充実を図っていきます。

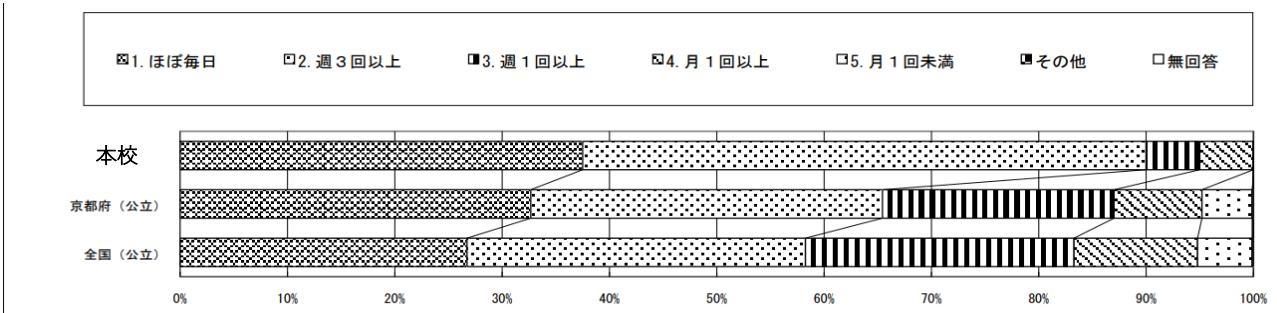
「理科」

多くの設問で全国平均を上回る結果となりました。特に、思考・判断・表現の力を図る問題で、記述式で解答する設問での正答率が、京都府平均や全国平均から15ポイント以上上回っています。今後も、調べた結果を、「表・グラフ・図」に整理する学習において、資料のどの部分を見ると、何が分かるのかを明確に示したり、結果を分析・解釈したことを基に、根拠をもって考察をしたりする力を育てていきます。さらに、習得した知識が活用されている日常生活の場面を見い出し、その知識を捉え直し表現することでより深い理解につなげることを大切にして授業改善に取り組みます。

（2）児童質問紙調査の結果から

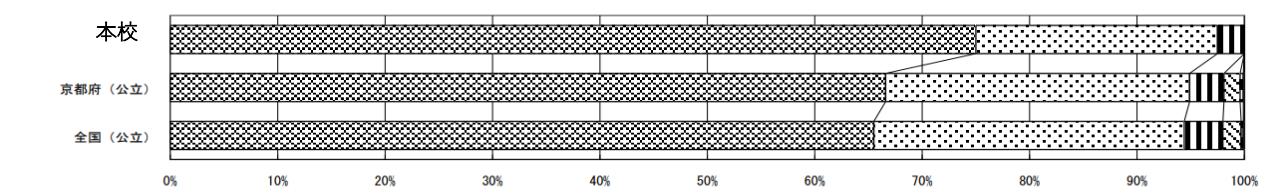
◆GIGAスクール構想推進が奏功し、パソコンが子どもたちの学習道具として定着◆

質問(32)5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。



第四錦林小学校では、一昨年度よりGIGAスクール構想を推進してきました。授業場面や家庭学習でタブレット端末を積極的に活用し、学習に取り組んできました（32）。

1. 役に立つと思う 2. どちらかといえば、役に立つと思う 3. どちらかといえば、役に立たないと思う 4. 役に立たないと思う その他 無回答

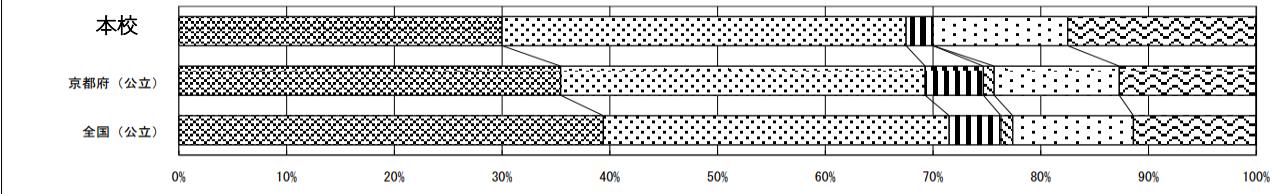


質問(36)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

結果として、子どもたちにとってもタブレット端末が「学習道具」として定着してきていることが読み取れます（36）。今後も、個別最適な学びと協働的な学びを実現できるように、GIGAスクール構想を推し進めます。

質問(4)携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家人の人と約束したことを守っていますか。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. きちんと守っている | <input type="checkbox"/> 2. だいたい守っている |
| <input type="checkbox"/> 3. あまり守っていない | <input type="checkbox"/> 4. 守っていない |
| <input type="checkbox"/> 5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない | <input type="checkbox"/> 6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 無回答 |



一方で、タブレット端末での持ち帰りを行うことで子どもたちがパソコンを操作する時間が増えており、ついで使いすぎるなど家人との約束を守っていない児童がいることは課題だといえるでしょう。情報の取り扱い方や健康面への影響などに注意してタブレット端末と上手に付き合っていくように、パソコンの善き使い手になるための学習を、さらに充実させていきたいと思います。

京都市の調査結果が京都市教育委員会のホームページに公表されています。下記のURLからご覧ください。